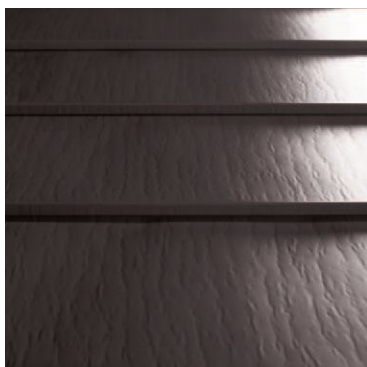


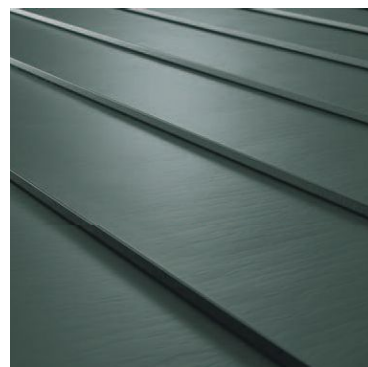
カラー：KギングロS



カラー：KブラックS



カラー：KブラウンS



カラー：KグリーンS

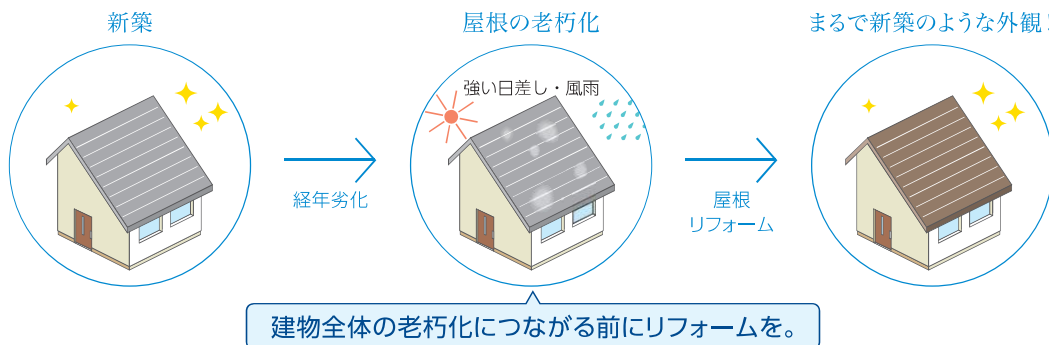
# 超軽量設計&高機能の 超高耐久横暖ルーフで 安心・快適・おトクにリフォーム!

ニチハの「超高耐久 横暖ルーフ」での屋根リフォームは、住まいを守り、住まいの寿命を伸ばします。



超高耐久 横暖ルーフS (カラー: KブラウンS)

屋根は、強い日差しや熱、風雨などで表面が徐々に劣化してきます。劣化した状態を放置し続ければ、雨漏りや躯体の劣化につながりかねません。



## ■ 屋根にこんな症状が見られたら、まずは点検を!

劣化した状態を放置し続ければいずれは躯体の劣化につながり、リフォーム費用が高額になることも! 早めのメンテナンスや屋根リフォームをおすすめします。



**ひび割れ**  
屋根材が割れたり、欠ける



**苔・藻の発生**  
水分を含んだ屋根材に苔や藻が繁殖



**白亜化(チョーキング)**  
屋根に白い粉のようなものが浮く

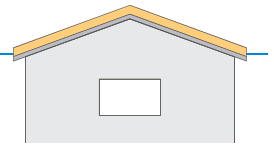
# 👑 超高耐久横暖ルーフは、 「重ね葺き」「葺き替え」に対応！

粘土瓦の約1/10、化粧スレート系屋根材の約1/4の軽さで超軽量設計の「超高耐久 横暖ルーフ」は、既存の屋根を囲い込む「重ね葺き工法」でも、建物への負担が少なく安心です。

※建物の状態によっては「重ね葺き工法」が使えない場合もございます。

## 「重ね葺き工法」の特長

### 既存の屋根の上に新しい屋根材を施工します



- 大幅なイメージチェンジができ、新築のような外観に
- 既存屋根をはがさないことで廃材を大幅に削減
- 自宅に住みながらリフォームができる



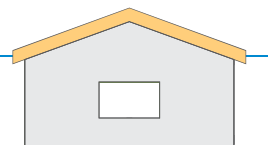
- 塗り替えと比べると初期費用が高価
- 瓦などの凹凸の大きい屋根には施工できない

#### ■ 施工手順

<p><b>1</b> 既存化粧スレート系屋根材の老朽度をしっかり診断します。</p> <p>重ね葺きが可能かチェック!</p>  	<p><b>2</b> 既存屋根の上から新規ルーフィング(下葺材)を張ります。</p> <p>2層の防水層で安心!</p>  	<p><b>3</b> 「超高耐久 横暖ルーフ」でみちがえる美しさ!</p> <p>軽くてサビに強い屋根!</p>  
--	---	---

## 「葺き替え工法」の特長

### 既存の屋根をはがして新しい屋根材を施工します

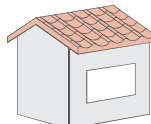

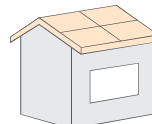

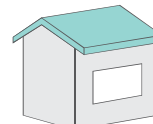

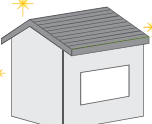



- 大幅なイメージチェンジができ、新築のような外観に
- 既存屋根をはがすことで、躯体・下地の確認が容易
- 下地の補強や防水紙・断熱材の施工など、性能向上のための工事が可能



- 既存屋根をはがす費用と廃材処理費用がかかる
- 初期費用が高価

#### ■ 施工手順

<p><b>1</b> 既存の重い瓦屋根を下ろします。</p> <p>下地確認で安心!</p>  	<p><b>2</b> 下地状態を確認し、野地板を張ります。</p>  	<p><b>3</b> 新規ルーフィング(下葺材)を張ります。</p> <p>防水性もバッチリ!</p>  	<p><b>4</b> 「超高耐久 横暖ルーフ」でみちがえる美しさ!</p> <p>軽くてサビに強い屋根!</p>  
---	--	--	---

# 👑 超高耐久横暖ルーフでの「重ね葺き工法」なら、 解体・除去が不要!!

住みながらの  
リフォームが  
可能!

既存の屋根を「超高耐久 横暖ルーフ」で囲い込む「重ね葺き工法」なら、  
石綿化粧スレート系屋根材のリフォームに最適です。

## 1 住みながらの工事が可能

解体作業を行わず、既存の屋根をそのまま囲い込むので工期を大幅に短縮。  
リフォームしながら普段と変わらず生活できます。

## 2 抜群の施工性で工期を短縮

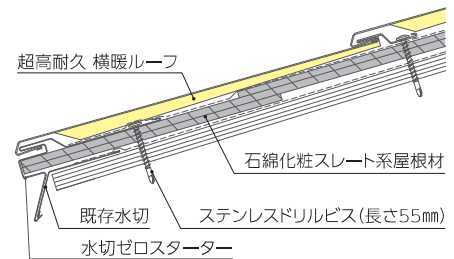
「超高耐久 横暖ルーフ」は3,030mmと2,960mmの定尺サイズに加え、独自の横つなぎ形状と約40種類もの部材で圧倒的な施工速度を実現します。

## 3 廃材を大幅に削減

既存の屋根に覆い被せる施工方法のため、一般的なリフォームで発生する  
解体・除去作業が必要なく余分な費用も発生しません。

※建物の状態によっては「重ね葺き工法」が使えない場合もございます。

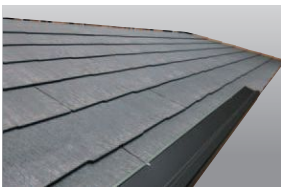
■重ね葺き工法断面図



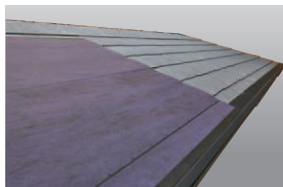
解体・除去せずそのまま覆い被せるので、工事中でも  
石綿粉じんを囲い込み、「石綿障害予防規則」にも該当  
しません。下葺材は、ニチハ「あんしん」屋根カバー工  
法で施工してください。

## 化粧スレート系屋根材の「重ね葺き工法」施工手順

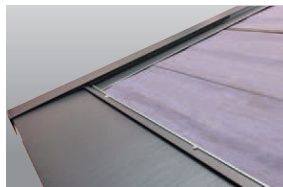
1 軒先部材の取り付け



2 下葺材の設置



3 けらば部材・  
本体の取り付け



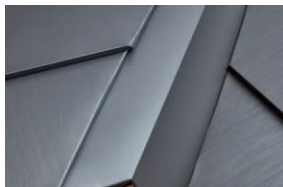
4 雪止め金具の取り付けと  
本体接合部



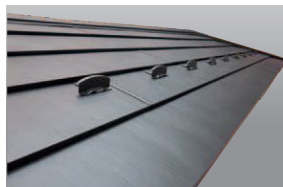
5 棟(下り棟)の取り付け



6 谷の納まり



7 完成



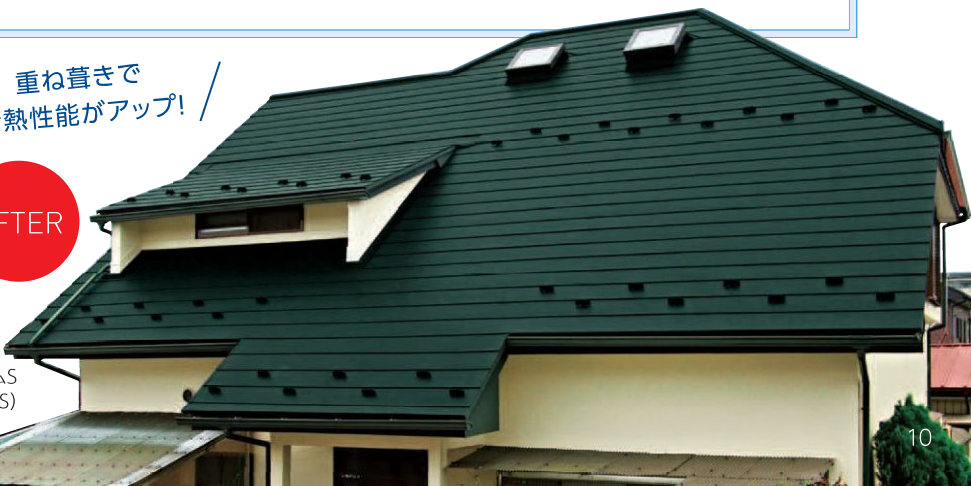
(あくまでも一般的な場合であり、  
状況によって手順・内容が変わる  
場合があります。)

BEFORE



重ね葺きで  
断熱性能がアップ!

AFTER



超高耐久 横暖ルーフ プレミアムS  
(カラー：FグリーンS)

# 超耐久横暖ルーフの「重ね葺き工法」は、「塗り替え」に比べて、おトクです！

「超耐久横暖ルーフ」は、塗り替えや補修が長期間不要で、遮熱・断熱効果もあるため、屋根のメンテナンス費用や光熱費の削減にも効果が期待できます。

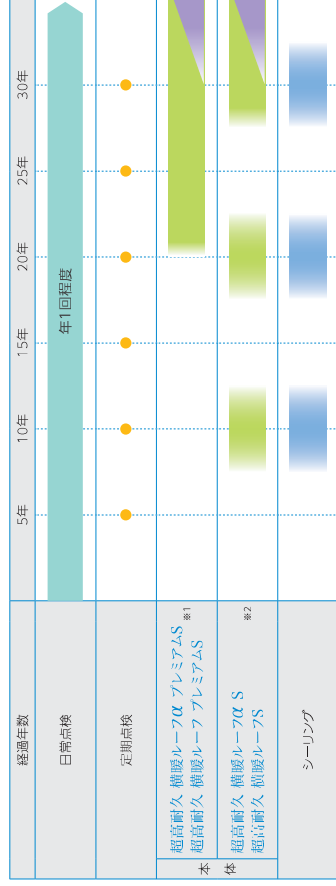
## メンテナンスコスト モデルプラン (一例)

【モデルケース：新築時から10年経過後 一般的な化粧スレート系屋根材(屋根面積100㎡)をリフォームした場合の概算金額】

	5年	10年	15年	20年	25年	30年
リフォーム初期費用						
超耐久横暖ルーフαプレミアムS・ 超耐久横暖ルーフプレミアムSを 「重ね葺き」した場合	初期費用 約130万円					
超耐久横暖ルーフαS・ 超耐久横暖ルーフSを 「重ね葺き」した場合	初期費用 約120万円	再塗装#2 約50万円				
既存化粧スレート系屋根材に 「塗装」した場合	初期費用 約50万円	再塗装 約50万円				

## 超耐久横暖ルーフ メンテナンススケジュール

メンテナンススケジュールは、お客様がメンテナンス計画の目安とするためのご提案です。  
適切な維持管理(日常点検とメンテナンス)を行えば屋根の美観や機能などをより良い状態に保つことができます。  
適切なメンテナンスを怠ると屋根のみならず、建築物そのものの寿命を縮めることになりかねません。  
建築物を長持ちさせるためにも、定期的な点検と定期的なメンテナンスを実施することがとても重要になります。



\*このメンテナンススケジュールは、あくは目安としてご利用ください。

点検&  
メンテナンスで  
キレイが  
長持ち!



「超耐久横暖ルーフ」で「重ね葺き」リフォームをすると  
メンテナンスにかかる費用がかなりお得になります!

	20年	25年	メンテナンス費用 TOTAL 30年相当
再塗装#1 約60万円			メンテナンス TOTAL費用 約190万円 メンテナンス コストが 約90万 もおトク!
再塗装#2 約50万円			メンテナンス TOTAL費用 約220万円 メンテナンス コストが 約60万 もおトク!
葺き替え(撤去費用含む) 約180万円			メンテナンス TOTAL費用 約280万円

表面材が「フッ素塗料」だから  
「再塗装や補修」が長期間不要!  
メンテナンス費用や光熱費の  
削減効果が期待できます。

既存屋根に「再塗装」を繰り返す  
より、メンテナンス費用や光熱費  
の削減効果が期待できます。

塗り替え 葺き替え シーリング  
交換(打ち替え) ※番外に關したる箇所が像になります。

### 【ご注意】

- メンテナンスコスト・メンテナンススケジュール比較は、日常点検・定期点検の実施、弊社標準工法の遵守、修正部材を使用した場合のモデルプランの一例です。
- メンテナンスコスト・メンテナンススケジュールは、気候や使用条件によって状況が異なりますので、メンテナンス計画を立てる目安としてご利用ください。
- 日常点検・定期点検において、屋根材本体に部分劣化がへこみ、変形、劣化などが現れた場合は、劣化部分の補修や部分的な葺き替え、葺き替えなど行ってください。
- また、シーリングに部分的なはく離、亀裂、劣化、漏れなどが発生した場合は、部分補修や劣化部分の交換を行います。
- 適切なメンテナンスを実施すると、屋根材の劣化が抑制され、建物本体に劣化が及ぶことがありません。また、地震や台風などの後にも点検を行うことで、適切なメンテナンスを実施することで、建物本体の劣化を抑制し、建物本体の寿命を延ばすことができます。
- 工事費用・メンテナンス費用は、見積書(内訳書)を参考にしてください。
- 日常点検・部分補修費用は、メンテナンス費用(約10万円)を参考にしてください。
- メンテナンスコスト・メンテナンススケジュールは、屋根材の劣化を抑制し、建物本体の寿命を延ばすことができます。
- メンテナンスコスト・メンテナンススケジュールは、屋根材の劣化を抑制し、建物本体の寿命を延ばすことができます。

\*1 一般的なフッ素樹脂塗料を使用した場合を想定しています。 \*2 一般的なアクリルシリコン塗料を使用した場合を想定しています。

▶ニチハ金属外装材の保証については、P.47を参照してください。